

令和元年度 生徒と市長のふれあいトーク記録票(村上高校)

と き: 7月30日(火) 11:00 ~ 12:00 会場:教育情報センター視聴覚ホール 参加生徒: 137人 学校職員 8人

市役所職員7人 市長 合計153名

学校名	NO	発言内容	答弁者	答弁内容
○人口が減少するというところにどのようなイメージがありますか。				
村上高校	1	物価が高くなると考えます。	市長	物価が高くなるとそれに見合った所得が必要となり、給料の高い職業を選択することになります。人口減少問題に対しての村上市の課題は社会的な移動で、進学の際に市外へ出て就職時に帰ってきてくれるかということです。資料では村上市の自慢できるものを挙げましたが、村上市で働くことに誇りをもってほしいと思ってのこと。所得面で村上市内で希望する職業に就けないということであるのであれば、なんとかしなければならぬと考えています。
○将来についてどのように考えていますか。				
村上高校	2	私は消防士を目指しており、村上に戻って地域を発展させたいと考えています。	市長	感激しました。ぜひ、目標達成のために頑張っていただきたいと思います。 先日山形県沖地震があったことに関連して、もし地震が起きたら自分には何ができると考えてください。例えばボランティアとして活動してみたりすると、その経験が生き方にいい変化を与えてくれると思います。
○どうして新潟県内の大学へ進学することを考えているのですか。				
村上高校	3	村上市に近く、興味がある学部がたくさんあるからです。	市長	
村上高校	4	教育学部への進学を考えていますが、新潟県内で先生になりたいと考えているからです。	市長	
○生徒からの質問				
村上高校	5	村上市の教育で力を入れているのはどのようなところですか。	市長	郷育に力を入れて取り組んでいます。ふるさとが子どもを育て、それによってふるさとが育まれるという考え方です。 また、幼保小中と一貫して高校にスムーズにつながっていくような取り組みを行っています。例えば小学校から中学校へ等、うえの学校に上がるときにその学校で積み上げた力が少なくならないような取り組みに力を入れています。
村上高校	6	スポーツで子供と高校生が関わるとどのように変わると考えますか。	市長	中学生が保育園で職場体験をするような取り組みは行っています。 また、市内の総合型スポーツクラブが外部指導員という形で中学校の部活動に関わっておりますが、各世代が連携していくのは有効だと思います。
村上高校	7	村上市の観光スポットにおけるビジネスの事例を教えてください。	市長	事例はたくさんあります。SNSの活用や、インバウンド対策として旅行代理店と連携した観光メニュー作りも行っております。周遊観光電車「四季島」の停車駅として村上駅に誘致できましたが、村上の街歩きや各種イベントで培ったおもてなしが評価されています。 食材、特に村上牛や岩船米、鮭、日本酒が村上市の強みであり、観光ビジネスのうえでの大切なコンテンツのひとつとして、力を入れてアピールしているものです。 最近の観光の傾向として、団体ではなく個人での旅行が増えていますので、個人旅行向けメニューの開発にも取り組んでいきたいです。
村上高校	8	地域が活性化するような動画を作成したいのですが、村上市内の場所や物で動画に登場させるべきものにはどのようなものがあると考えますか。	市長	村上市は広大で様々な種類の場所や物がありますが、それぞれに魅力があります。ぜひ、そのような魅力をつなげてストーリーを作り、魅力をアピールしてもらえたらと思います。 例えば、山奥であっても、二子島森林公園の集客が伸びているのは魅力があるからです。農産品で言えば岩船米だけではなく村上市は野菜も強みです。市内の食材に関連して言えば、県内水揚げ量の一番である寝屋漁港の越後本ズワイは市内では1杯7千円程度ですが、同じ品物でも越前ガニというブランドだと1杯1万5千円ですので、やはり魅力の作り方が重要で、動画等でのアピールに関わってくる部分だと思います。 また、動画にするなら人の生き様も魅力的だと思います。国の伝統工芸品に指定されている村上木彫堆朱や羽越しな布の職人を取材することも面白いことだと思います。